



鶴居村

つるい 議会だより

子ども達の「未来の笑顔」のために

親子の絆は1等賞！



下幌呂地区小学校・自治会 合同大運動会

6月定例会議案審議・・・・・・・・・・P2～P4

平成27年度補正予算Q&A・・・・・・・・・・P5

7名が村政を問う

一般質問・・・・・・・・・・P7～P13

委員会報告・・・・・・・・・・P14～P15

研修・視察・・・・・・・・・・P16～P17

住民の声・・・・・・・・・・P18



釧路町村議会議長会

5月定例会

5月21日、弟子屈町で開催され、役員を改選し会長に鶴居村 松井議長、副会長に浜中町 波岡議長を選出しました。

また、平成26年度歳入歳出決算と表彰規程に基づく被表彰者を可決決定しました。

北海道町村議会

議長会理事会

6月2日、札幌市で開催され、役員を改選し会長に上富良野町 西村議長などを選出しました。

また、自治功労者表彰と関連団体役員を可決決定しました。



人事異動の発令

定期異動、並びに新規採用職員2名の配置など、4月1日付けで教育委員会を含む12件の人事異動を発令しました。

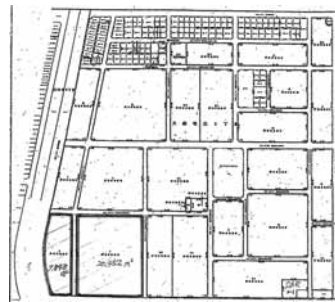
また、3月31日付けで定年退職した齊藤前建設課長と田中前議会事務局長は、村の再任用職員として、さらに6月1日付けで、道職員1名を受け入れ、梨澤亜弓主査を産業振興課に配属しました。

平成26年度各会計決算

5月31日で、全ての出納事務を閉鎖したので、9月定例会にて決算内容を報告します。

土地の等価交換

釧路市大楽毛に所有する村有地と釧路市の市有地との、状況等価での土地交換契約を締結し、所有権移転登記を完了しました。



地方創生関連の取組み

本村でも、「鶴居村まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、戦略会議を開催します。

また、計画策定の基礎資料のため、「住民アンケート」を実施し、今後は、外部有識者などで構成する「村総合戦略策定委員会」や「庁内プロジェクトチーム」を設置し、作業を進めます。

釧路北部消防事務組合

による総合演習

5月24日、本村を会場に組合加盟の弟子屈町、標茶町、並びに本村の各消防団から団員140名の参加のもと、実施されました。

また、同日、鶴居消防団が日本消防協会定例表



鶴居中学校で消火訓練

彰で権威ある「表彰旗」を受章したことから、祝賀会が開催されました。

鶴居村観光振興

ビジョンの策定

村の観光振興の方向性や指針を定めるもので、「おもてなし環境の充実」「村の地域資源の活用」



北部消防総合演習

「村の体制強化」など、大きく3つの振興戦略に整理し、取りまとめました。

北海道横断自動車道

白糠ICが開通

3月29日に釧路地域待望の道東自動車道の浦幌・白糠間が開通しました。

千歳恵庭CTから白糠ICまでが繋がることで今後、釧路地域の交流人口の拡大や物流の促進が図られていくものと期待します。



6月定例会 議案審議



第2回定例会は6月11日に開会し、12日に閉会しました。
 村からは、報告2件、一般会計補正予算、専決処分の承認、計画の策定、村道の認定が上程され、すべての議案を原案通り可決しました。
 また、陳情1件を総務常任委員会に付託しました。

村有住宅新築！

4000万円

村営住宅の入居待機者に対応するため1棟5戸（世帯用1戸、単身用4戸）を鶴居市街地の村有地に**民間提案型買取方式**で建設します。

※民間提案型買取方式？

民間事業者が設計から施工までした住宅を村が買い取るものです。2割くらい安く建設できる予定です。今年度、同じ方式で幌呂地区に1棟4戸（世帯用2戸、単身用2戸）を建設します。

鶴居小学校が

道徳教育推進校に！

31万円

文部科学省と北海道による「道徳教育推進校」に、昨年の鶴居中学校に続き鶴居小学校が指定されました。道徳教育の調査研究、授業実践、研究会への参加などの経費で継続しています。

鶴居中学校は今年度も

高齢者の買い物支援に

補助金！

50万円

釧路丹頂農協が地域貢献として「暮らしの支援業務」の担当者（丹頂ふれあい推進員）を設置し、移動が不便な地域の高齢者などを対象に行う買い物代行サービスと安否確認事業に、必要な経費の一部を補助します。

身体障がい者用

自動車改造に補助金！

30万円

身体障がい者の社会参加を促進するため、自動車の改造費や購入費用の一部を助成する「身体障がい者用自動車改造費等助成事業」で、対象となる1件分の助成費を計上しました。

マイナンバー制度の

システム整備！

1100万円

マイナンバー制度の導入にともない、昨年度から継続した総務省関連の住民基本台帳および地方税務システム、団体内統合利用番号連携サーバーの整備に係る経費を補正計上しました。

なお、整備費用は国庫補助金と地方交付税で全額措置されます。

また今後、厚生労働省関連のシステム整備費を補正計上する予定です。



どんな住宅ができるかな？

平成26年度補正予算

・一般会計補正予算

840万円を追加し、総額39億1928万9千円。

平成27年度補正予算

・一般会計補正予算

6832万5千円を追加し、総額35億8732万5千円。



振興公社の運営状況

損益計算書

(単位 万円)

科 目			26年度	25年度	比 較
売 上 高	委託事業料売上(芝生・施設管理など)	A	5,874	5,199	674
	公社運営売上(乗馬・チーズ売上など)	B	8,398	8,011	387
	指定管理料(村より)	C	2,252	2,432	▲ 180
	売上高合計[A+B+C]	①	16,524	15,642	882
売 上 原 価	期首棚卸高(年度当初の在庫)	D	358	453	▲ 95
	公社管理運営部門原価	E	13,078	11,749	1,329
	期末棚卸高(年度末の在庫)	F	462	▲ 358	820
	売上原価合計[D+E-F]	②	12,974	11,844	1,130
売上総利益 [①-②]		③	3,550	3,799	▲ 249
事業管理費	事業管理費(人件費など)	④	3,032	2,539	493
営業利益(事業での利益) [③-④]		⑤	518	1,260	▲ 742
営業外収益	受取利息	G	2	17	▲ 15
	雑収入	H	180	145	35
	営業外収益合計[G+H]	⑥	182	162	20
営業外費用	退職給付引当金繰入損(退職金積立)	I	41	269	▲ 229
	雑損失	J	7	0	7
	営業外費用合計[I+J]	⑦	48	269	▲ 221
経常利益=税引前当期純利益 [⑤+⑥-⑦]		⑧	652	1,152	▲ 500
法人税住民税及事業税(支払った税金)		⑨	153	420	▲ 267
当期純利益(最終的な利益) [⑧-⑨]			499	732	▲ 233

振興公社の仕事

指定管理事業	鶴居運動広場
	鶴居どさんこ牧場
	鶴居村パークゴルフ場
管理委託事業	村有施設芝生管理
	幌呂パークゴルフ場ほか維持管理
	役場・総合センター花壇管理
	鶴居市街公園ほか維持管理
	総合センター管理
	「酪楽館」管理
	ふるさと情報館花壇管理
	ファミリースポーツセンター管理
	醸造用ぶどう特産品開発
	林産物試作品研究開発
直営事業	ビニールハウス施設
	タンチョウ鳳販売
	その他直営
	DVD販売

順調に事業推進!

平成26年度は、春先から好天に恵まりましたが、主要事業の「パークゴルフ場」は自動車燃料の高騰の影響を受け、売上、客数ともに前年を下回る結果になりました。

「運動広場」事業は大型連休などが好天に恵まれ、前年より上回る結果となりました。お客様に喜んで利用していただける施設管理に努めるとともに、事業推進に取り組みました。

「どさんこ牧場」事業

は、乗馬料金などの施設利用料の適正化を計りながら乗馬利用者の拡大に努めましたが、前年を下回る結果となりました。

「酪楽館」事業では、村主催のイベントなどが頻繁に開催されるとともに、アイスクリームの発売など新たな乳製品の製造販売に積極的に取り組んだことから、チーズを含めた乳製品全体の販売額は前年を大きく上回ることができました。



健康のためにパークゴルフをしましょう!



一般会計補正予算

Q

&

A

ここが聞きたい

◆振興公社経営報告◆

吉田保博議員

問 「酪楽館」は売上が前年比400万円増加しています。今後の新商品の予定は？

答 昨年度は新製品のアイスクリームの販売とチーズのギフト販売が順調でした。今後の新商品は現在チャレンジ中です。

東 隆行議員

問 「どさんこ牧場」で後継馬としての馬の繁殖は？

答 繁殖はしています。後継馬として調教を含めた対応をしています。

及川満浩議員

問 「どさんこ牧場」のレストラン部門が前年比100万円ほど減少しているのは？

答 宿泊客が減少したため、朝食や昼食の売上が落ちたのが主な原因です。

◆条例の改正◆

及川満浩議員

問 マイナンバー制度に対応するために条例を改正しますが、情報漏えいへの対応は？

答 国からシステム面、制度面についての指示があるので、それに基づいて管理運営することで情報漏えいに努めます。

◆補正予算◆

秋里広志議員

問 大地みらい信金設立100周年記念助成金84万円は？

答 観光パンフレット外国語版8000部の作成費に59万円、札幌駅前通り地下歩行空間「チ・カ・ホ」で8月17～23日に行う「根室&釧路いいところフェア」参加助成金25万円を助成してもらいます。

松井洋和議員

問 鶴小と鶴中が「道徳教育推進校」に指定されました。今後、「道徳」が特別な教科として格上げされますが、現状は？

答 平成30年に小学校、平成31年に中学校で「道徳科」として教科化される予定です。道徳は特別な教科なので、評価をどうするかなど詳細は今後になります。道徳の教科化と今回の推進校の指定は関係ありません。



現在調教中！

松井広道議員

問 身体障がい者用自動車改造等助成費として30万円計上していますが、この制度は？

答 国の「障がい者総合支援法」の中の地域生活支援事業を使ったものです。その事業に基づいて昨年10月に村で新たに実施要項を制定しました。現在、道内ではおそろく鶴居村だけの事業とされています。今回、1件の申請があり補正計上しました。

大津泰則議員

問 一般廃棄物最終処理場の侵入道路の沿線の支障木を伐採し、道路法面を補修しますが、道路幅を拡幅する必要があるのでは？

答 道路の拡幅も検討しましたが、今回はまず、沿線の木を伐採することで視界を確保し、その状況により対応を検討したいと思います。

吉田保博議員

問 「ウエルカム道東道オールくしる魅力発信協議会」負担金21万円の内容は？

答 釧路管内8市町村で構成する協議会で、高速道路の延伸による地域活性化および雇用創出などを図るため、おもに札幌道央圏での「ピアガーデン」や「札幌モーターショー」などの大型イベントで、釧路管内の観光や物産などのPRを行う事業です。



待ち遠しい高速道路



第2回臨時会

7月15日に第2回臨時会を開催しました。

◆工事請負契約の締結

工事請負契約の金額が5000万円を越えるため、議会の議決が必要になります。

この工事は中久著呂地区に全長3880mの林道を開設する工事です。
全員賛成で原案通り可決しました。



林業発展のために

- 契約の目的：林業専用道中久著呂支線開設工事
- 契約の方法：指名競争入札
- 契約の金額：60,480,000円
- 契約の相手：阿寒郡鶴居村鶴居東8丁目9番地
株式会社 佐々木建設
代表取締役 佐々木昇一

広域連携議会報告

◆公立大学

3月定例会◆

松井洋和議員より「平成27年度釧路公立大学事務組合会計予算」、「釧路市条例を釧路公立大学事務組合条例として準用する条例の一部を改正する条例」について、**原案通り可決**した報告と、「公平委員会委員の専任について同意を求める件」、「監査委員の専任について同意を求める件」について**同意**した報告がありました。

◆公立大学

6月臨時会◆

秋里広志議員より「議長選挙の件」は釧路市議会議長の月田光明氏が、「副議長選挙の件」は厚岸町議会議員の佐々木敬治氏が**当選**した報告がありました。

◆北部消防

第1回臨時会◆

及川満浩議員より「平成26年度釧路北部消防事務組合一般会計補正予算」について、**原案通り可決**した報告がありました。

◆北部消防

第2回臨時会◆

及川満浩議員より「議長選挙の件」は標茶町議会議長の深見迪氏が**当選**、「監査委員の専任」は鶴居村議会議員の吉田保博氏、標茶町監査委員の田中俊彦氏が**選任**された報告と、「平成26年度釧路北部消防事務組合一般会計繰越明許費繰越計算書」「財産の取得」について、**原案通り可決**した報告がありました。

読者モニター募集！

「議会だより」に対するご意見やご要望を聞かせていただける方を募集しています。

お気軽にご応募下さい。お待ちしております！

お問合せ先 議会事務局 (64)2511
メールアドレス turuimura21@yahoo.co.jp



一般質問

村政のここを問う

7人の議員が11項目の質問

東 隆行 議員



タンチョウの食害
拡大への対応は？

関係機関と協議を
図り対応！

平成26年度2回目となる生息数調査で北海道のタンチョウ生息数は、過去最多となる1187羽が確認されたと発表されました。
その一方で、タンチョウの生息地を分散させるため、とうもろこしの給餌量を1割削減しているとのこと。その影響なのか、昨年から中幌呂地区でも1年を通して、多くのタンチョウが餌を

求めて各農家を行き来するようになりました。

また、デントコーン畑では発芽した芽を次々と抜いている状況を目にする事もあります。

この食害が、今や鶴居村全域に広がっている事に対し、村として現状をどう認識しているのか、また、今後どのような対応を考えているのか伺います。

大石 村長

まず、タンチョウの食害の現状認識については、毎年春に村内全農家を対象に野生鳥獣被害のアンケート調査を実施し、エゾシカやタンチョウなどによる被害の実態調査を実施しています。

その調査結果からは、ほぼ村の全域でタンチョウが飛来している状況ですが、畜舎の侵入やデントコーン畑の被害は下久



デントコーンの食害の現状

著呂、下雪裡、中雪裡、中幌呂など、鉦路湿原の特定地域に限定されています。しかし、平成26年度からはタンチョウの生息地分散に向け、試行的に2週間ほど伊藤タンチョウサンクチュアリーと阿寒給餌場で、

給餌量の1割削減を実施しました。また環境省では、今後も同様に検討していると聞いています。
村としては、当面、給餌量1割削減による議論がどのように進展していくことになるのか注視していきたいと考えています。

策は、従前どおり地域の要望による追払い事業を一昨年からの費用の50%の助成を継続して対応しています。
そして、食害が広範囲に及ぶ事態とならないよう、国や北海道の関係機関などとタンチョウに係る保護政策や食害などの情報の共有を図りたいと考えています。



タンチョウ保護とのシレンマ



松井 洋和 議員



児童・生徒の
家庭学習は？

キメ細かな
指導を！

本村の教育はとても高い評価を受けていますが、教育委員会、学校をはじめ現場で子ども達と向き合っている先生方の絶え間ない努力の賜物と思っています。

その中で最近の子ども達はとても忙しいと良く聞きます。少年団活動や塾、習い事などで放課後や休日が使われるためです。

「生きる力」を身につけさせるためには「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランス良く育む必要があります。「全国学力・学習調査」から本道の子ども達は、「基礎・基本の定着」「学習習慣の確立」「生活習慣・生活リズムの確立」「読書活動の



学力も体力もバランス良く！

充実」などに課題があることがわかり、改善の取り組みを進めてきました。「宿題や自学の量・質の吟味」については、現在行っている学習の他、既習の学習内容からも出題し、習熟した宿題・家庭学習であること。
・漢字・計算などの反復練習だけでなく、考える力・書く力を鍛えるような思考課題を取り入れること。
・宿題プリントとは別に、ノートを活用した自主学習に取り組み低学年や支援の必要な児童には、保護者や教師の作成した問題に取り組みさせています。「生活習慣の改善・学習習慣の定着」については、学年×10分の家庭学習を毎日継続することはなかなか難しく、容易なことではありません。しかし、徐々に決まった時間に机に向かう児童が増え、定着してきているのも事実です。学年が進むにつれ「家庭学習を点検するが難しい」との声があるものも伺っています。
「家庭学習の手引き」を参考に、一人ひとりに合わせたキメ細かな指導をし、自学自習できる子どもに育ってほしいと思っています。



秋里 広志 議員



再生可能エネルギー調査の報告を受けての対応は？

継続した調査検討を重ねたい！

去る5月22日、村が㈱アドバンテックに委託していた『再生可能エネルギー地域創出事業』の調査報告会がありました。報告会を聞き今後の村の取組みを含め3点について、村長の考えを伺います。

① アンケート調査の結果、本村の一般世帯の電力消費量は国内平均の倍以上となっており、主

課題も沢山ありますが、

してCO2排出量の多い化石燃料による電気を多く使っているということ

② 調査から、本村に適した再生可能エネルギーとして太陽光発電と乳牛の糞尿を利用したバイオガス発電の組み合わせが良いとされ、特に本村電気エネルギー需要の60%以上を補うことが可能となる乳牛などの糞尿資源があるとの調査結果について。

③ 本村では電気エネルギー由来のCO2排出量が多いことから、再生エネルギーを積極的に導入して国の目指す低炭素社会の実現が重要課題と考えます。今回の調査報告書を今後どのように対応するのか伺います。

一步前進した取り組みを期待します。

大石 村長

去る5月22日、昨年村が国の補助金制度を活用し実施をした、再生可能エネルギーによるマイクログリッドシステム、いわゆる、電力の100%地産地消の可能性についての調査結果についての報告会でした。

結果については、太陽光発電と家畜糞尿バイオガスとの併用により、村内全域の電力の供給が可

能であろうという調査結果になりました。

① 調査結果から、全国の平均電力消費量が3000〜3500kwに対し、本村では、8000〜9000kwと、2倍から3倍の消費量となりました。

今回の調査では、こうした電力使用状況の詳細な検証を実施していないことから、具体的な内容の検証にはいたっていませんが、本村では、積雪寒冷地域の特有の結果と

この結果からあらためて、省エネ対策やCO2削減に向けた取り組みが必要であると認識します。

② 村内全域での「賦存量」が多く、一方で利用率が低い乳牛の糞尿は本村の有効なエネルギー源であり、

副産物としての液肥の生産や、臭気などの環境対策にも効果が期待されます。

将来を見通した中で、家畜糞尿などの再生可能エネルギーの活用は、タンチョウや釧路湿原などの地域資源を有する本村の、自然環境と共生した酪農経営の充実や、地域経済の活性化などに結びつけていくことが出来るものと考えています。

③ この調査結果をもとに、エネルギー活用の早期実現に向けて、より具体的施策の推進が肝要であると認識しています。

今後、エネルギーマネジメントの構築や、バイオマス発電を実現させるためのインフラ整備などの課題も残されていることから、継続した調査検

討作業をすすめ、農産団体などとの連携も図りながら、将来にわたる、本村の環境施策について検討したい。



家畜糞尿は有効なエネルギー源

賦存量(ふぞんりょう)とは

天然資源が利用の可否に関係なく、理論的に算出する潜在的な資源量のことです。



佐藤 吉人 議員



鶴居市街の商店街
空洞化への施策は？

憂慮はしているが、
現在進めている計画
では対応できない。

今回の選挙の中で、住民の皆様から喫緊の課題として「酪農家が作業着を着たまま入店して、食事をする場所もない。村には起業化資金制度もあるのだから、若い夫婦が経営できるような工夫を行政と議会が相談して誘致加速してくれ」とのことです。
英語の定型句の中に「Nothing done、



待ち望まれる活性化

nothing gained(何かを始めなければ、なににも始まらない)というのがあります。村の中心市街地活性化についての経過も合わせて伺います。

大石 村長

鶴居市街地の商店街空洞化については、昨年の村政懇談会をはじめ、様々な場面で、村民の皆様からのご意見をいただき村としても憂慮しています。まず、村が現在進めてい

る地域特産品等販売促進施設は、特産品開発や販売として観光案内所の施設としてとらえています。併設地域での公募型飲食店についても現スペースでは不十分で実現は不可能であろうと考えます。さらに、村では、現在中心市街地活性化の計画は持ち合わせていません。

空き家の買取りによる住宅提供は？
困難。「空き家バンク」
で対応したい！

本件は、平成25年12月定例会で「条例制定の考えはない」との答弁でした。しかし、本年5月26日より施行された「空き家対策特別措置法」により、固定資産税減免措置廃止や各種情報公開が原則解禁となります。

村が公的資格者の査定後に買い取り、村有財産として村・定住希望者に供給できれば、公営住宅を建設するより、安く提供可能と考えます。

大石 村長

「空き家対策条例制定」を今一度提案させていただきます。

「空き家の買取り」については、公平性の観点から、買い取る場合の物件の特定が難しいことや、一律に私有財産を村が取得し公共地化を進めることは、その後の管理も含め好ましくないもの考えますので、現状では困難



増えつつある空家

と考えます。

村としては、現行の「空き家バンク制度」が効果的、効率的に機能し、移住・定住促進を含め地域活性化が図られるように講じて行きたいと考えます。

下雪裡く下久著呂間の
道道の改良は？

道は予定なし。
しかし他路線とともに要請！

道道阿寒・標茶線は国立公園釧路湿原の北側部分を横断する大変重要な産業・観光道路です。本路線の下雪裡く下久著呂間(通称どさんこ峠)の西側付近はカーブが大変きつく、東側は路肩・路面状態が悪く、舗装表面が波を打っている区間もあります。ぜひ関係部署に曲線改良と路盤と舗装面の改修工事を働きかけて



急カーブ注意！

いただきたいと考えますが、村の見解を伺います。

大石 村長

本道路は、線形がきつくと、冬季間は路面凍結など通行に細心の注意を要する路線になっています。管理者である道に確認をしたところ、現状では改修などの予定はないとのこと、当面は維持補修により対応していくとの回答です。

村としても道道53号線釧路市湿原展望台横を通る「北斗坂」の線形変更や舗装改修などの要望を行っていますので、引き続き道に要請をしていきます。



及川 満浩 議員



大石 村長

保育の今後の対応は？

子育て支援の重要な施策として配慮！

全国的に国・各自治体が少子化対策を進めていますが、次の点について保育行政に対する村の見解と今後の対応について伺います。

- ① 認可保育所と無認可保育施設（へき地保育所）の認定区分の見解と今後の対応は？
② 保育サービスの充実と保育士の配置・研修は？
③ ハード面での今後の対応は？



保育の充実を！

現在、村の保育所は、認可保育所には当たらず、「へき地保育所」の扱いであることから、国などから特例による給付がなされています。
なお、認可保育所への移行は現在の状況では対応できず、また緊急の課題ではないと考えています。

Table with 7 columns: 事業名, 5期, 6期, 比較, 5期, 6期, 比較. Rows include 予防給付, 介護給付, 介護保険3施設, and 合計.

今年度からスタートした「第6期鶴居村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づく介護保険事業は、計画に基づいた適切な事業運営に努めます。

① 3月に条例で新たな子ども子育て支援制度における認可基準を制定し、対象となる施設・事業の運営の基準を定めました。
② 村では、保育を希望される保護者の要望を踏まえ、可能な限り児童の受け入れを行っています。
③ 鶴居、幌呂両保育園ともに、建設から35年以上経過し、施設の老朽化が見られ、建て替えなどを考えますが、総合計画との整合性や他事業との関係から、現段階では明確な時期はお答えできません。

介護サービスの基盤整備への対応は？
着実な推進と、適切な運営に努める！
鶴居村の第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中では、サービスの基盤整備の方針が示されています。

次の点について村の見解と今後の対応について伺います。
① 保険給付に係る事業量・事業費は？
② 施策の具体化は？

村の「子ども子育て支援事業」における関係施設の整備は重要な課題であると認識しています。
増加する第1号被保険者と給付額、その負担とのバランス、更に低所得者の負担軽減策について、引き続き配慮する内容としています。



吉田 保博 議員



健康で生きがいを持ち
みんなで支え合える
むらじゅりを！

高齢者がいきいきと
健康で活躍できる場
の確保に配慮する！

鶴居村の高齢化率も27
年中には30%を越え、10
年後には総人口2340
人、高齢化率36・4%に
なると推計され少子高齢
化が進むようです。
村は高齢者に対しても
手厚い施策を実施してい
ますが、閉じこもりがち
な高齢者の多様な生きが
いづくり、グループホー
ムなどにも早い時期に取

り組んでいただき
たい。
また、趣味と実
益を兼ね備えた、
そこに収入がある
ような事業の検討
が出来ないのか、
いつまでも元気で
活躍できるむらじ
ゅりについて見解を伺
います。

大石 村長

村の高齢者施策は、高
齢者自らが生きがいを感じ、長く健康を保つこと
ができるよう、施策の展
開を図っています。
高齢者の多様な生活や
活動を支援するグルー
プホームなどは、今後の本
村に必要な施設の一つと
考えています。

村内には介護関連の事
業を担うことのできるボ
ランティア団体などが現
段階で存在しないため、
高齢者を支援する担い手
として、また地域づくり

などの活動に元氣な高齢
者に期待しています。
地域で、いきいきと健
康で、活躍できる場の確
保に配慮します。



知識は財産

住環境の整備への 対応は？

現地を確認し必要
な対応する！

村は今年度、中幌呂地
区に1棟4戸（3LDK
2戸、1LDK2戸）の
村有住宅の整備を計画し
ています。

これは「建物提案型買
取方式」とし、建設コス
トを2割程度の削減との
ことですが、この設計・
建築に村ほどの程度介入
できるのか伺います。

以前にも質問していま
すが、公営住宅の入居者
の苦情に十分な対応策が
取られていないように思
います。例えば、冬には
結露がひどくなり玄関ド
アが開かない、カビが発
生する、防音性が悪いこ
などの対応を願います。
また、低所得者向けの
公住であることで、収入
額により8万円を超える



住み良い住宅を！

家賃になる場合の対応を
伺います。

大石 村長

「建物提案型買取方式」という手法上、村は基本的な仕様のみを提示し、提案された中から総合的に判断し、買取事業者の選定、具体的には、間取りと、基本的な設備のみを提示する予定です。

住宅の補修では、入居

者に依頼を受けた場合、担当職員が現地を確認し、必要な対応しています。大規模な内部補修は入居者が退去の際に行なっています。カビなどは状況がひどい場合対応し、遮音性は木造建築であり若干劣ります。

また、高額家賃への対応は、村有住宅や地域優良賃貸住宅への転居を勧め

ることで対応しています。



大津 泰則 議員



高齢者世代の
安心な生活を！

高齢者の施設整備
は重要な課題！

本村も高齢化社会に向
かっており、高齢化率も
29%になりました。
村で平成26年度に調査
をしたところ、単身者あ
るいは世帯全員が70歳以
上の世帯は170世帯と
いう結果が出ています。
しかしながら、平成22年
度では102世帯であり、
今後は増えていく傾向で
はないかと思えます。
今回の選挙戦中、お年
寄りの方からはコンパク

多々おられると聞きます。
人口減少時代の自治体
の住宅戦略として、釧路
町では、公営住宅を地域
福祉の拠点に「釧路町型
コレクティブハウジング」
方式を取り入れています。
村では、老人福祉住宅
や独居老人住宅はじめパ
リヤフリー・オール電化
など高齢者世帯に配慮し
た公営住宅を整備し、高
齢者福祉施策の充実を図っ

が必要とされ、現実には高
齢化世帯の方は心細さを
感じています。
また、高齢者の中には、
現在住まわれている住宅
を処分し、公営住宅に移
りたいと思っている方も

トな高齢者にやさ
しい街づくりをし
てほしいとの声を
数多く聞きました。
東日本大震災以
降、自助・共助・
公助、のほかに隣
近所が助け合うと
いう「近助の精神」

ていますが、高齢者の住
宅事情を早急に調査し、
時代に合った高齢者住宅
問題を検討すべきと思っ
ますが、村長の考えを伺
います。

大石 村長

人口減少社会の本格的
な到来とともに、本村の
高齢化率が30%に迫ろう
としている中、高齢者の
住宅問題で



釧路町コレクティブハウジング

高齢者の安心安全な生活のために！

は、高齢者
が施設に入
所した場合
や、加齢に
より住宅の
維持管理が
難しくなっ
た場合など
の公営住宅
などへの転
居に対し、
これまでも
その要望に
応じて、公
営住宅等に
空きがある
場合は、可
能な限り入
居していた
だく等の対
応を行って
います。

現在、村が整備してい
る高齢者福祉関連の住宅
ですが、独居老人住宅お
よび老人福祉住宅をそれ
ぞれ1棟5戸、計2棟10
戸整備しており、様々な
事情により、村内の各地
域から市街地への転居を
希望される高齢者に対し
ましては、これら高齢者
福祉関連住宅を含め、公
営住宅などへの入居につ
いて、転居者の意向を尊
重しながら、引き続き同
様の対応を行うこととし
ています。
また、今後の公営住宅
などの整備については、
平成29年度を目標年度と
する「鶴居村住生活基本
計画」並びに「鶴居村公
営住宅等長寿寿命化計画」
に基づき、順次整備を行
うこととしています。
これら公営住宅などの
建設に際しては、本村で
も年々高齢化率が上昇す
る中、加齢による身体状
況の変化や要介護になっ
た場合の在宅介護などに
対応できる住宅として、
多様な方々が安心して心
豊かに暮らすことができ
る住まいの実現を推進し
ていて、近年は、村もこ
の取り組みを考慮した住
宅を建設し、高齢者の方
がより良い環境で生活で
きるよう、配慮している
ところです。
今後、地域住民の高齢
化に対応した公営住宅な
どの整備と同様、老人福
祉住宅などの高齢者向け
の新たな施設整備は重要
な課題であると認識して
いて、高齢者が住み慣れ
た地域で安心して暮らし
ていくことができるよう
引き続き配慮します。



◆総務常任委員会◆

7月10日に総務常任委員会を開催しました。

◆出席議員◆

- 委員長 大津泰則
- 副委員長 及川満浩
- 委員 東 隆之
- 委員 松井洋和
- 委員 松井広道
- 委員外 松井議長

説明員

- 高松保健福祉課長
- 小北

地域包括支援係長
 地域包括支援センター医療体制等の現状と今後の方向性について



診療所建設予定地

来年度に移転新築される村立診療所の設計・運用と今後の医療・介護体制について村との意見交換を行いました。

現在、鶴居村の高齢化率は、まもなく30%を超え、診療所の重要性が高まっています。

新しい診療所は、ほぼのセンターとふるさと情報館みなくなるの間の村有地に移転し、作業動線の確保や将来的な介護体制を見据えて、現在の約2倍の面積とし、住宅も確保する予定です。

また、設計委託は9月に終え議会に提示できる予定との説明を受けました。

意見交換の中では、デイサービスセンターとの連携や保健福祉のゾーン化によるワンストップサービス、調剤への対応、グループホームなどの高齢者の住宅対策や住み慣れた地域での生活を確保するための訪問介護の必要性など意見交換をしました。

しかしながら、各事業とも対象者が少ないため採算面で民間の参入が非常に厳しく、また村としての対応も難しい判断を迫られるとの説明を受けました。



37年間ありがとう！

議長・議員が参加した行事



中学生意見発表会



全道消防技術大会の壮行会



納涼まつり



◆産業常任委員会◆

6月4日に産業常任委員会を開催しました。

◆出席議員◆

- 委員長 吉田保博
- 副委員長 佐藤吉人
- 委員 秋里広志
- 及川満浩
- 松井洋和

③観光振興ビジョン

について

平成26年度に策定された「観光振興ビジョン」の説明を7月に受ける予定です。

④再生可能エネルギー

について

牛の糞尿などを使ってバイオガス発電をしている近隣市町村の視察を、9月～10月に行う予定です。

①農業従事者

確保対策について

酪農ヘルパーの人員不足が問題となっており、酪農ヘルパーの確保が、酪農への就業促進策として重要である。酪農ヘルパーの確保が、酪農への就業促進策として重要である。酪農ヘルパーの確保が、酪農への就業促進策として重要である。

②地方創生事業について

今年度に策定される2060年までの「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の進捗状況を、8月～9月に確認を行う予定です。



別海町バイオガスプラント（出典：三井造船）

進む糞尿バイオマスエネルギー

◆議会運営委員会◆

6月4日に第2回定例会について議会運営委員会を開催しました。

◆出席議員◆

- 委員長 松井洋和
- 副委員長 大津泰則
- 委員 吉田保博
- 及川満浩
- 松井副議長

7月15日に議会運営委員会を開催しました。

◆出席議員◆

- 委員長 松井洋和
- 副委員長 大津泰則
- 委員 吉田保博
- 及川満浩
- 松井副議長

※反問権とは？
村長ほか村の職員が、議員の質問に対して論点・争点を明確にするため、反問することができるとのことです。

- 委員外 松井議長
- 説明員 山田副村長

①会期について

6月11日（木）～12日（金）までの2日間。

②一般質問について

7人11件で発言順番は通告順とする。

③提出議案について

- ・村長提出……8件
- ・報告2件、専決3件、補正予算1件、他2件
- ・議会提出……1件
- ・陳情1件を総務常任委員会に付託しました。

①一般質問の

取り扱いについて

今回は、あらかじめ通告している一般質問に対する答弁書の事前配布の件と、関連して、再質問の回数および時間制限の件、また、答弁者への反問権付与の件について協議しました。

②議会活動および

議員活動について

現状、本村議会では反問権を付与していません。団体としての議会活動と、個としての議員活動についてなどを協議しました。

議会改革



生かそう 研修・視察

北海道町村議会議員研修会

今年度の全道町村議員

研修会が札幌コンベンションセンターで開催され、

講師に中央大学名誉教授

今村都南雄さんとテレビ

朝日コメンテーターの川

村晃司さんの解説で行わ

れました。

地方議会を取り巻く最近の傾向

まず、今村さんの講演では「地方議会を取り巻く最近の傾向」と題して、地方自治法96条2項につ



平成二十七年
北海道町村議会議員研修会会場
主催 北海道町村議会議長会

いて町村議会が議決審議を行える範囲として改正前においては「法定受託事務に係るものを除く」から、「国の安全に関すること、その他の事由により議会議決すべきことが妥当でないものとして政令で定めものを除く」とな

ている。

それでは地方議会は原子力災害や沖縄の基地移転問題などは地方議会議論の対象にならないなどということを決めてよいのか？

議会あつての地方自治体であり、議会が地方自治体の中核機関にふさわしい位置を確かなものに

している。それでは地方議会は原子力災害や沖縄の基地移転問題などは地方議会議論の対象にならないなどということを決めてよいのか？

これからの政局・政治動向

するために議員の研鑽をさらに積み重ねて行かなければならない。

議員では中選挙区として多様な意見を集約しているとはいえないのではないか。

後半講壇のテレビ朝日解説員川村晃司さんは「これからの政局・政治動向」について講演され、自民党の旧派閥体制がよいか悪いかということではないが、派閥の中で新人議員を育く

後半講壇のテレビ朝日解説員川村晃司さんは「これからの政局・政治動向」について講演され、自民党の旧派閥体制がよいか悪いかということではないが、派閥の中で新人議員を育く

後半講壇のテレビ朝日解説員川村晃司さんは「これからの政局・政治動向」について講演され、自民党の旧派閥体制がよいか悪いかということではないが、派閥の中で新人議員を育く



今村都南雄さん

員を育く
その中で
学んだ人
が後の総
理や閣僚
として日
本を進め
てきたの
は間違い
はない。
しかし現
状の小選
挙区から
出てきた



川村晃司さん



よりよい「むらづくり」のために

道議会委員会 視察報告

道議会

予算特別委員会傍聴

道町村議員研修会に先立って、7月6日の午後から道議会の予算特別委員会を傍聴しました。

その日は2分科会に別れ、それぞれ第1分科会は環境政策部・総合政策部などの質疑が、第2分科会は農政部・経済部などの質疑行われました。

第1分科会では、環境問題、交通関連の質疑が行われ、第2分科会では、酪農および農業問題、エネルギー、地域経済と中小企業対策、労働問題などが行われました。

特に第2分科会は、鶴居村でも関心の高い酪農問題が質疑され、生乳生産減とそれに伴う乳製品の需給バランス、後継者と酪農ヘルパーの確保、パワーアップ事業と畜産

クラスターの評価、6次産業化と輸出戦略などが質疑されていきました。

しかしながら近年道議会は、議員と道が事前には質問と答弁をすり合わせる答弁調整が批判されています。議会側も批判を受け答弁調整はしないと宣言した経緯がありました。

第1分科会では、環境問題、交通関連の質疑が行われ、第2分科会では、酪農および農業問題、エネルギー、地域経済と中小企業対策、労働問題などが行われました。

具体的な対策の概要は見えてこず、議論が十分深められていないのかという観点から見ると物足りなさを感じました。



北海道議会

居村議会では支給されてはいない政務調査費の一部が、札幌地裁にて違法と認定された判決を受け、一部会派は道に返還するなど信頼が揺らいでいます。

道議会と鶴居村議会では同一に語ることはできませんが、地方議会の存在意義を高めるために、住民の生活に密着した議論を議員が意識する必要があるとの感想を持ちました。

次回定例会は 9月15日からの予定です。

なお、通常の議案審議などとともに、平成26年度の決算審査を行う決算特別委員会も開催します。

また、8月下旬に臨時会も開催予定です。



自然も家族の 楽しき移住生活

平川 美帆



今朝も我が子3人があ
わただしく家を飛び出し、
滑り込むようにスクール
バスに乗り込んだのを確
認し、ギリギリセーフと
ほっとひと息。

牧歌的なくらしにあこ
がれていて、移住を決断。
その後紆余曲折を経て、
北海道にゆかりのない私
達が3人の子供と鶴居村
の支雪裡に移りあつとい
うまに2年が過ぎました。

「どこかにいい土地は
空いていませんか？」と
鶴居村役場の方や車で村

内を走り、直接、畑
仕事をしている方に
訪ねて回った日々も
今では随分と前の事
のように感じます。

その後、縁あって
支雪裡に小川の流れ
る眺めのいい土地を
紹介して頂きました。
土地のほか「ドサ
ン」飼ってみるか
い？」と言われた時には、
「はい？馬ですか？私達
のような素人に飼えるん
ですか？」頭の中が真っ
白に、神奈川にいる時は
馬は一部のセレブ達が持
つものと思い込んでいた
のですが、ここでしかで
きない貴重な経験だと思
い飼うことになりました。

その後、新たに3頭の
仔馬が産まれ、さらには
今年の春から鶏10羽が仲
間入りし、毎朝我が家に
新鮮な卵を提供してくれ
ます。

この2年を振り返ると
ざっとこんな感じですが、
北国で暮らす厳しさもひ
しひと実感しました。
雪とは無縁の土地で育つ
ため、秋になってもの
んびり。そのため去年は
冬用の薪の準備不足や大
雪でたくさんの方にお世
話になりました。

自然も、子育ても、動
物たちも、ままならない
事のほうが多いですが、
周りにいる方からのアド
バイスや多くの支えもあ
り、いろいろな事がゆっ
くりと楽しい方向に動き
始めていく気がします。

今朝も牧草地では母馬
2頭がのんびり子育て中。
我が家の中2、小6、小
3の子供達もこの自然に
鍛えられ少しずつたくま
しくなり、私達夫婦を日々
悩まし、そして楽しませ
てくれています。



- 広報委員会**
- | | |
|-------|-------|
| 委員 長 | 及川 満浩 |
| 副委員 長 | 松井 洋和 |
| 委員 員 | 大津 泰則 |
| 委員 員 | 佐藤 吉人 |



間伐と間伐材の有効利用を促進して
健全な森づくりに貢献します。



つるい議会だより

平成27年7月30日発行 146号

発行 北海道鶴居村議会 〒085-1203 鶴居村鶴居西1-1
編集 広報広聴常任委員会 0154-64-2511